

東洋へのまなざし
京都高等工芸学校初期収集の陶磁器を中心に



Eyes on the Orient

Ceramics from the early collection of Kyoto College of Technology

2024年9月2日[月] - 10月26日[土]

Monday, 2nd September, 2024 - Saturday, 26th October

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：日曜・祝日、10月19日（土）

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び
付添の方1名は無料（入館の際は、手帳の提示をお願いします）

*10月3日（木）～10月26日（土）は無料



- 1 《灰釉波文双耳壺》 後漢時代(3C頃)、AN.1793
- 2 《灰釉花文壺》 新羅時代(6C頃)、AN.1801
- 3 《白地鉄絵文字蓮花文花壺》 元時代(14C)、AN.1840
- 4 《五彩牡丹獅子文小壺》 清時代(康熙年間)、AN.1842
- 5 《呉州赤絵花鳥文大皿》 清時代初期(17C)、AN.1837
- 6 《青花飲中八仙図鉢》 清時代(康熙年間)、AN.0794
- 7 《輪花花文鉢》 清時代末(19C末)、AN.0905

表面：《白地鉄絵草花文四耳壺》 金～元時代(13C)、AN.1838

交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Izan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校(明治35年開校)では、教材として多くの「参考品」を購入していました。それらは、講義や実習で生徒に示されただけでなく、地元京都で伝統産業に携わる人びとにもひろく公開されていたことがわかっています。

京都高等工芸学校時代に購入された参考品としては、ロートレックやクリムトなどによるポスター類やアール・ヌーヴォーの陶磁器、ティファニーのガラス器類などがよく知られています。京都高等工芸学校の図案指導が欧米の最先端のデザイン状況を伝えることを中心としていたため、わたしたちもそのような欧米の美術工芸品をみていただく展覧会を多く企画してきました。しかし、京都高等工芸学校では、そのような欧米の美術工芸品だけではなく、日本の古美術やさらにアジアの工芸品や民族衣装なども購入し、収蔵していました。今回の展覧会では、京都高等工芸学校初期の収集品のなかから、これまであまり注目してこなかった中国大陸や朝鮮半島で製作された陶磁器を展示します。そこには後漢時代の出土品や三国時代の新羅でつくられた土器なども含まれています。京都高等工芸学校の図案教育の、これまで知られていなかった側面をご覧になれると思います。

明治時代後期から大正時代にかけての「ものづくり教育」のなかで収集された、ちょっと意外な東アジア陶磁器の数々から、当時の東洋へのまなざしをお楽しみください。

同時開催

博物館実習展「パリをめぐるデザイン」
2024年7月19日(金)～9月14日(土)

「SDレビュー2024 第42回建築・環境・インテリアの
ドローイングと模型の入選展 京都展」
2024年10月3日(木)～10月26日(土)

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

